

# News Letter

岩井滝

## 地域資源を活用したグリーン・ツーリズムの取組 ～ 粟井地区・村創りの会 ～

美作市粟井地区で活動している「粟井地区・村創りの会」は、宿泊研修施設やコテージ、ログハウス、キャンプ場などが整備された「能登香の里」を中心に、地域資源を活用した地域活性化の取組を行っています。

### 農業体験等のイベントを実施

「粟井地区・村創りの会」は、平成25年に粟井地区の住民約860人を会員として設立され、田植や野菜の収穫祭、稲刈り等の農業体験をメインとしたイベントの実施や、特産品を使用した商品開発等に取り組んでいます。本年6月に行った田植祭りでは、親子約80名が参加し、土の感触を楽しみながら、稲の苗を手植しました。田植後には杵とうすでよもぎ餅をつき、おはぎや豚汁とともに味わいました。



田植祭りの様子

### ジビエ料理の開発

同会は、農業体験のほかに、農作物の被害を防ぐ目的でイノシシやシカを捕獲し、同市の処理施設で食肉に加工したものを使用して、同会の女性メンバーがジビエ料理の開発を行っています。本年2月には、3名の講師を招いて、低カロリーで高タンパク、脂肪分が少ない鹿肉を使ったジビエ料理講習会や、イノシシや鹿肉を使用したジビエ料理の試食会



研修や食事ができる能登香の家

を開催しました。これまでにタマゴコロッケやフライ、吸い物等の新たな料理を開発しており、これらの料理は予約していただくと、研修施設「能登香の家」で味わうことができます。また、近くにはバーベキューハウスがあり、イノシシ・シカ肉を炭火焼にして楽しむこともできます。



女性メンバーが開発したジビエ料理

### 耕作放棄地や休耕田の再生への取組

同会では、イノシシやシカの捕獲だけでなく、獣の隠れる場所を少なくし、農作物の被害低減を図る目的で、耕作放棄地や休耕田の再生の取組を行っており、これまでに1haを再生しました。



耕作放棄地



再生後の農地

本年5月に再生した農地では、3種類のヒマワリを栽培して景観の向上に取り組み、その後はソバ、大豆等を栽培する予定としています。

今後、同会では、新たな体験イベント等の実施を通じて、粟井地区の住民全員が参加した取組とし、地区全体が盛り上がる活動に取り組んでいくとしています。

## インフォメーション

中国四国地域「食育シンポジウム」 ～ココロもカラダも“農”で変わる～

未来につなげる「食育のすゝめ」にご参加ください。

中国四国農政局では、行政、農林漁業者、教育関係者等が連携して食育を実践するため、『次世代を担う子どもや学生への食育』をテーマとした講演会、食育実践者による取組紹介及びパネルディスカッションを行う「食育シンポジウム」を開催します。

- 【日 時】 平成26年 8月 6日(水曜日) 13時30分～16時30分(受付 13時00分～)
- 【場 所】 岡山国際交流センター 2階「国際会議場」(岡山市北区奉還町2丁目2番1号)
- 【内 容】 ・基調講演「学校教育における食育の果たす役割と課題」  
長島 美保子氏 (公益社団法人全国学校栄養士協議会 会長)  
・パネルディスカッション
- 【申込締切】 平成26年 7月 31日(木曜日)
- 【お問合せ先】 中国四国農政局消費・安全部消費生活課 TEL:086-224-4511(内線2313)

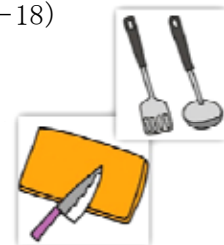


### 「米粉料理講習会(岡山会場)」の参加者を募集します。

米粉については、その製品がもつ食感が好まれ、米粉パン、米粉洋菓子等へと利用が拡がりつつありますが、家庭料理等に利用される機会がまだまだ多くありません。

このため、米粉の普及拡大を図ることを目的に、栄養教諭等の給食関係者や料理教室の講師等を対象に、給食や家庭料理に活用できる米粉料理講習会を開催します。

- 【日 時】 平成26年 8月 1日(金曜日) 13時00分～16時30分
- 【場 所】 学校法人本山学園「西日本調理製菓専門学校」(岡山市北区大供3-2-18)
- 【指導講師】 今別府 靖子氏 (料理研究家・栄養士)
- 【内 容】 講師によるデモンストレーション講習は5品、そのうち2品を実習
- 【募集人員】 定員40名(定員になり次第締め切りとします。)
- 【受講料】 1,000円
- 【お問合せ先】 中国四国農政局生産部生産振興課 TEL:086-224-4511(内線2369)



### 「平成25年度食料・農業・農村情勢報告」を公表しました。

中国四国農政局は、中国・四国地域の食料・農業・農村に関する総合的な報告書として「中国四国食料・農業・農村情勢報告」を作成、公表しました。

第Ⅰ部の特集編では、「中国・四国地域の特色ある農産物の輸出拡大に向けて」と題して、管内の先進的又は特徴的な取組を取り上げ、輸出に当たっての留意点や地域に与える効果について整理しています。

第Ⅱ部の動向編では、中国・四国地域の食料・農業・農村の最近の動向及びそれをめぐる問題点を明らかにするとともに各種の統計データ、各地の取組事例やその効果、中国四国農政局の施策等を紹介しています。

詳しくは、農政局HPで [http://www.maff.go.jp/chushi/hakusyo\\_josei/houkoku/index.html](http://www.maff.go.jp/chushi/hakusyo_josei/houkoku/index.html)

#### 農林業センサス

平成27年2月1日現在で、2015年農林業センサスを実施します。

農林業経営体調査(平成26年12月中旬～平成27年2月末)

農山村地域調査(平成27年4～6月末)

円滑な調査の実施に向けて、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL: <http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc>



編集:中国四国農政局 企画調整室

〒700-8532 岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎

TEL(086)224-4511(内線2295) FAX(086)235-8115 <農政局HP> <http://www.maff.go.jp/chushi/index.html>

各種メールマガジンを配信中(登録はこちらから) <http://www.maff.go.jp/chushi/mailm/index.html>